

議会だより

就任のご挨拶



第55代副議長
杉 浦 誠 一



第55代議長
渡 辺 昇

市民の皆様には、平素より市議会に対し、深いご理解とご協力を賜わり、厚くお礼申し上げます。

私たちが向名は、昨年十一月定例会におきまして議長、副議長に就任し、その使命と責任の重大さを痛感しているところで、さて、混迷を続ける国際情勢の中、我が国に目を向けましても、経済環境は依然厳しい状況であります。

本市の財政状況もこれまでに経験したことがないほど厳しい状況が続き、現在、行財政改革を推進し、財政危機からの脱却を目指すべく努力をしております。

このような中、私たちが市議会議員一同は、社会・経済情勢の変化や多様化する市民からの要望への的確に対応していくために、地域の実情に即した豊かな個性と活力のある地域社会を構築すべく、力を合わせて努力してまいります所存です。今後とも変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



消防救急車のお披露目 1月7日に行われた出初式での晴れ姿
(松戸市消防訓練センターにて)

委員会の構成

健康福祉常任委員会

委員長 岩 堀 研 嗣
副委員長 諸 角 由 美

委員 美 喜 子
渡 杉 一 郎
山 浦 藤 田 清
正 栄 俊 次 郎
所 口 野 信 照
城 山 沢 吉 田

総務財務常任委員会

委員長 大 一 利
副委員長 佐 藤 一 恵

委員 岡 本 和 久
岡 松 中 元 久
川 島 田 本 井 貞 英
龍 裕 三 橋 英 三
石 草 末 中 二 階 堂

議会運営委員会

委員長 岡 本 和 久
副委員長 箕 輪 信 矢

委員 藤 川 利 子
佐 大 一 利
大 谷 五 郎
長 谷 吉 小 沢
山 村 野 信 裕
能 多 賀 次 子
山 野 部 松 人
深 中 吉 矢 末

都市整備常任委員会

委員長 吉 岡 五 郎
副委員長 深 山 能 一

委員 橋 本 義 雄
高 谷 杉 正
矢 野 博 行
博 信 俊 博
田 輪 林 口 澤
吉 箕 平 山 富

教育経済常任委員会

委員長 山 沢 井 誠
副委員長 大 井 知 敏

委員 部 井 愛 子
長 谷 川 秀 三
矢 野 博 行 小 沢 三 満
史 紀 浩 勝 多 賀 子
津 野 笠 木 替 村
宇 武 名 張 中

12月定例会

平成16年12月定例会は、12月8日から21日まで開催されました。

今定例会では、市長から提出された議案や、市民の方々から提出された請願・陳情が上程され、各委員会において審査されました。

最終日には、これらの案件の他、追加議案や議員提出議案が提出され、採決されました。(審議結果は4ページに掲載)

なお、市政に関する一般質問は29人の議員が行いました。

12月定例会の日程

| | | |
|---------------|-----------|---|
| 12/8 | 本 会 議 | 議案の上程 提案理由の説明 |
| 12/9,10,13~15 | 本 会 議 | 市政に関する一般質問 |
| 12/16 | 常 任 委 員 会 | 総務財務・健康福祉常任委員会 |
| 12/17 | 常 任 委 員 会 | 教育経済・都市整備常任委員会 |
| 12/21 | 本 会 議 | 議案・請願・陳情の採決 追加議案の上程・採決 議員提出議案の上程・採決 |

主な内容 (目次)

- P2~3...一般質問
- P4.....審議結果
- 意見書
- 人事案件
- 編集の窓 ほか



一般質問

一般質問は、市政の諸問題や将来について、市の考え方を聞くものです。12月定例会では、次の29人の議員が一般質問を行いました。(通告順)

桜井 秀三・池田 清・宇津野史行・中田 京・吉野 信次・諸角 由美・大井 知敏・山沢 誠・沢間俊太郎・伊藤余一郎・城所 正美・高橋 義雄・渡辺美喜子・名木 浩一・石川 龍之・山口 栄作・草島 剛・矢部 愛子・吉田 博一・中村多賀子・箕輪 信矢・吉岡 五郎・二階堂 剛・長谷川 満・松井 貞衛・武笠 紀子・渡辺 昇・山口 博行・谷口 薫

もしもの時の仮設住宅は

問 震災時のために、仮設住宅を建てる対応が図られているか。

答 震災後の応急仮設住宅は、本市が建設することになり、本市においては必要戸数を約8,000戸と想定している。

本市地域防災計画に基づき、建設用地は小中学校や公園等の公共用地をもつて対応している。それにより不足されない地域は、災害時における農地の一時使用に関する取扱い要領に基づき、応急仮設住宅建設用地や応急応用資材置場等に活用できる農地の協力を頂き、防災協力農地登録制度により確保することになる。そのため現在、農業委員会と調整を行っている。

競輪場のイメージアップを

問 競輪場のイメージアップを図るため、松戸競輪場の名称を例えば「松戸サイクルスタジアム」としては。

答 イメージアップの例としては、調布市にある京王競輪場が「東京オーバル京王」という別称を積極的にアピールしており、また北九州市の小倉競輪場が「メディ

市内県道の冠水対策は

問 県道281号線みのり台駅前および県道51号線市川市の冠水とその対策は。

答 当該路線は県道であるため、道路管理者である千葉県東葛飾地域整備センターに確認したところ、台風などの降降時に道路冠水が発生していることを認識しており、改善に向けて平成16年度中において測量を実施し、その結果を基に必要策を検討したいとのことである。今後は市内の幹線道路でもあり、排水整備の要請を積極的に働きかけていきたい。

パートナーシップ条例の

問 総合計画のシステムに変わるものとして、パートナーシップ条例は、市政の根幹に関わる条例となる基本構想の条文化であることについてどのように考えているか。

答 地方分権の流れや市町村合併を契機として、自治基本条例策定の動きが見られるが、総合計画に基づく行政執行を体系的に行っている本市においては、その計画に係る条例を制定する必要性は現時点ではないものと考えている。総合計画の目標を達成していくには新しい環境ではあるが、その目指す将来像に近づくための方法の一つがパートナーシップ条例の制定の動きである。

「コミュニティビジネス」の相談窓口を

問 コミュニティビジネスについて市民への啓発や相談窓口の設置はできないか。

答 コミュニティビジネスは市民が主体となった地域が抱える課題をビジネス的手法により、解決しようとするものであり、地域の再生を旨とする事業活動を通じて生きがいや新たな雇用創出といった地域の人々に元気をもたらす取組と認識している。

松戸新田・総台地区

問 みのり台駅前の踏切の拡幅踏切先の県道松戸・鎌ヶ谷線交差点内にある横断歩道の撤去、みのり台駅前交差点より和名ヶ谷方面に向かう市道の拡幅について伺う。

答 鉄道管理者である新京成電鉄(株)は、当該踏切の現状を十分認識していることから、国土交通省に改良を図るべき箇所としてリストアップしている。

指定管理者制度

問 管理委託制度と指定管理者制度の法制上の違いは。

答 指定管理者制度は、平成15年10月6日の地方自治法の一部改正により新しくできた制度である。管理委託制度が「公法上の契約」であるのに対し、指定管理者制度は「行政処分」であり、これまでできなかった施設の運営許可を、管理代行が行えるようになった場合、指定管理者制度を導入する場合は、公の施設の設置条例に規定するほか、管理代行者の指定も議会の議決事項となり、手続きの明確化が図られた。さらに、受託者の範囲が市の出資法人等に限定されていたが、指定管理者制度

不法投棄防止パトロールの

問 市の塵芥収集運搬委託業者で構成する松戸市清掃事業協同組合が、平成16年から実施している防犯活動も兼ねた深夜の不法投棄防止パトロールの実施状況は。

答 平成16年5月、松戸市清掃事業協同組合、松戸東警察署および松戸市とのかかる地域安全監視パトロールにかかる地域安全情報共有化に関する協定を締結した。パトロールは、清掃事業協同組合が市内全域において頻繁に不法投棄される場所を中心に週5日、午後5時から翌朝4時までの間に適宜、監視時間を設定し実施している。関係団体の努力やパトロールの抑止効果により、不法投棄は減少しており、今後もさらに防止に努めていきたい。

市民センター

問 市民センターは海防施設としての役割を持つが、その耐震化はどのように取り組んでいるか。

答 市民センターは別館を含め20カ所ある。その内、耐震診断が可能な12カ所の施設は、平成13年度までに耐震診断を終了している。その結果、小金原市民センターなど6カ所は現行基準の耐震性能を保有している。東部市民センターなど6カ所は耐震性能が低いと診断されたが、既に六美市民センター別館と常盤平市民センター本館の耐震補強工事が終了している。残りの4カ所については財政的な制約はあるが、耐震補強工事を進め、市民の安全確保に努めていきたい。

市町村室くまの活用状況は

問 地方財政の先行きが厳しくなる中、宝くじの発行など新たな財源確保を検討すべしと思うが、本市におけるオタムジャンボ収益金の借入状況とオタムジャンボ収益金の配分状況は。

答 サマージャボ収益金による借入状況は、昭和55年度から平成15年度まで、昭和施設、消防施設などの財源の一部として10件、9億4,940万円の借入をしている。また、オタムジャンボ収益金の配分状況は13年度、4,444万8,000円、14年度、9,522万1,000円、15年度、2,202万1,000円が交付されている。これら収益金は、本市にあって今後とも確実な収入が見込めることから財源として見込を予定している。



パトロール中に不法投棄を発見

平成16年7月の参院選の人員費は

問 参院選において、職員に支給した手当の総額、平均額および支給はいくらか。そして、最高支給額およびその支給はいくらか。また、職員ではない人についても同様、それぞれはいくらか。

答 職員に支給した手当の総額は2,460万6,660円である。平均支給額は3万4,533円であり、最高支給額は17万5,000円である。最高支給額は3万6,600円であり、その支給は2,400円である。職員ではない人に支給した手当の総額は5,937万6,000円であり、内訳は投票立会人に2,227万4,800円、派遣職員に3,711万2,800円である。派遣職員には一律1万6,800円を支給し、時給1,200円である。

市独自の災害保険制度を

問 今回の新潟県中越地震災害の教訓として、市独自の災害保険制度を創設できないか。

答 地震災害が多発している近年、安心して加入できる災害保険の制度システムが問われている。国においても40年前の新潟県地震を機に、地震保険に関する法律という特別法に基づき制定している。しかし、いまだ加入率が全国平均で17.2%と低く、保険料への割高感など今後の普及に向けて問題が多岐にわたる。これらの点を踏まえ、市がどこまで開かれるのか、損害保険会社などの意見も聞きながら検討したい。松戸まつりにおける「YOSAKOI」の今後は

市独自の災害保険制度を

問 今回の新潟県中越地震災害の教訓として、市独自の災害保険制度を創設できないか。

答 平成16年11月からインターネットや携帯電話による貸出予約を開始した。図書予約件数も大幅に伸びており、サービス提供が拡大したとも考えている。現在、読書相談、問合せ等多岐

図書館のサービス向上について

問 図書館のシステム整備状況は。図書貸出しのサービスだけでなく調査、研究も促したサービス展開の実現と、図書館司書の更なる活用や配置等によるサービス向上ができないか。

答 平成16年11月からインターネットや携帯電話による貸出予約を開始した。図書予約件数も大幅に伸びており、サービス提供が拡大したとも考えている。現在、読書相談、問合せ等多岐

市独自の災害保険制度を

問 今回の新潟県中越地震災害の教訓として、市独自の災害保険制度を創設できないか。

答 平成16年11月からインターネットや携帯電話による貸出予約を開始した。図書予約件数も大幅に伸びており、サービス提供が拡大したとも考えている。現在、読書相談、問合せ等多岐

答 地震災害が多発している近年、安心して加入できる災害保険の制度システムが問われている。国においても40年前の新潟県地震を機に、地震保険に関する法律という特別法に基づき制定している。しかし、いまだ加入率が全国平均で17.2%と低く、保険料への割高感など今後の普及に向けて問題が多岐にわたる。これらの点を踏まえ、市がどこまで開かれるのか、損害保険会社などの意見も聞きながら検討したい。松戸まつりにおける「YOSAKOI」の今後は

にわたるサービスを提供している。図書館司書は11名を配置し、資料の収集整理、おはなし会等、図書館運営全般の業務もしている。全職員がサービスの充実、拡大に努めており、現配置の中で各人が研鑽研究を重ね、更なるサービス向上に努めている。

**児童・生徒に
防犯笛や防犯ブザー**

問 児童・生徒が被害者となる凶悪犯罪が多発しているが、この防犯笛や防犯ブザーを児童・生徒に支給できないか、また、市バトロルカーの増車はできないか。

答 児童・生徒をとりまく犯罪状況は深刻なものである。このような状況を考慮し、防犯笛の支給等について教育委員会において検討している。

市バトロルカー増車についてはその業務遂行に際してさまざまな規制が付随し、現在の社会情勢からも難しい状況と考える。緊急防犯連絡システムで無線機を配備している関係企業等の協力を得て、防犯体制をさらに充実していきたい。

**小児医療の更なる充実
に向けた今後の取組は**

問 平成16年4月に、松戸市夜間小児急病診療所が衛生会館内に設置され、大変好評と聞いているが、更なる充実に向けた今後の取組は。

答 平成16年11月末現在、一日平均患者数は15年度と比べると小児のみでは、約3.8倍の増加となっており、市の需要に応えるためと考えている。

今後の取組については、病態急変に円滑に対応し、重症患者を高度な機能を有する市立病院で速やかに治療できるよう、市立病院敷地内へ設置場所を移転し、限られた医療資源の集約、有効活用を進め、診療時間等を拡充した(仮

称)小児急病センター)として18年4月にオープンできるよう努力している。

**水害発生時の土のうの
配付体制や実績は**

問 水害発生時に無償配付される土のうは、大変喜ばれているが、その配付体制や実績は。

答 水害が予想される場合は事前に業者へ作成を依頼し、数を把握しながら要請に対して早急に対応できるように処理している。実績としては、台風22号で3243袋、23号では1万773袋、消防対応3340袋の計1万43456袋である。

臨機応変な配付対応についても業者と担当課の連絡体制強化により努力していきたい。また、配付した土のうの回収については、財政的に負担が大きいため、近隣の市の状況を見ながら今後の課題としたい。

**育児支援家庭訪問事業に
対する市の考えは**

問 次世代育成支援対策としての育児支援家庭訪問事業に対する市の考えは。

答 本事業は、児童の養育に支援が必要でありながら、積極的に自ら支援を求めないことが困難な状況にある家庭に対し、過重な負担がかかる前段階に訪問し、安定した児童養育を可能とすることを目的としたものである。また、児童虐待の防止にも大きな役割を果たすものと考えている。しかし、ハイリスク家庭の把握、評価および家庭介入については、その必要性、緊急性はもとより、極めて対応の難しい業務であることから、巧速推進ならぬも適切に対応していきたい。

**永住外国人に
住民投票権を**

問 将来、住民投票条例を制定する場合には、市内在住の永住外国人についても投票権を与えるべきか、市の考えは。

答 過去の議会では、本市の外国や国際化にかかわる取組姿勢として平等に行政サービスを提供し、市民からの意見を公平に伺う。また、参政権の見解としては、過去の経緯を考えると良いことだと思いが、また議論する課題はあると考える。と市長が答弁しており、現在も同じ考えである。

このことから、仮に住民投票条例の策定がされる場合には、永住外国人の対応についても十分議論したいと考えている。

**放課後児童クラブの
状況は**

問 定員を大幅に超過している寒風台は、小金北、上本郷の各クラブに対する今後の対応状況は。

答 定員の超過については、基本的には学校や法人の協力を得て対応している。

寒風台は、各クラブについては、学校と法人の配属により体育館および隣接教室の一時使用などを認め、もたれ対応している。

小金北クラブについては、低学年児童が多数を占めており、対応に苦慮している。

街路樹の選定について

問 八柱駅周辺のイチョウ並木(奥通)は、電線共同溝整備工事に伴い姿を消したが、今後の街路樹整備の計画は。

答 本事業は千葉県葛飾地域整備センターが担当しており、共同溝の埋設場所については、既存の埋設物との関係上、イチョウの街路樹の部分にならざるを得なかったことである。埋設工後の街路樹整備については、埋設後の土が浅いため、大きくする樹木の植栽は、根が埋設管に影響を与える恐れがあり、樹木自体の生育も中心とした植栽が予定されていることである。今後、植栽する樹木の選定については地元住民と十分協議をして決定しようと考えている。

整備センターが担当しており、共同溝の埋設場所については、既存の埋設物との関係上、イチョウの街路樹の部分にならざるを得なかったことである。埋設工後の街路樹整備については、埋設後の土が浅いため、大きくする樹木の植栽は、根が埋設管に影響を与える恐れがあり、樹木自体の生育も中心とした植栽が予定されていることである。今後、植栽する樹木の選定については地元住民と十分協議をして決定しようと考えている。

**ベイオフ全面解禁の
対策は**

問 対策として、資金運用方針については、どのような見直しが行われているか。

答 本方針は、平成13年8月に設置された「ベイオフ対応研究会」により調査・研究を重ね策定された。14年度から施行されたもので、資金の安全性を最優先とし、効率的な運用を図るためのものであり、国の制度や金融情勢の変化へ機敏に対応するため、その内容を毎年見直しするものとする。とされている。

17年4月のベイオフ全面解禁に向け、さらに公金保護を万全のものとするため、決済用預金の導入等を含め、本方針の見直しを早急に図りたいと考えている。

**放課後児童クラブ
障害児への対応は**

問 クラブにおける障害児の利用状況は、また利用に関する明確な基準および財政的助成については、市の考えを問う。

答 利用状況については、平成15年度が施設16人、16年度が7施設13人である。

利用基準については、基本的に健康者と同様に利用できるようにすることを目標としているが、子ども障害の種類や程度によっては、受入れ側の体制整備等の理由で障害児専用のクラブを紹介したり、利用を断らざるを得ないケースもある。障害児受入れの体制整備に伴う財政的助成については、開設時間の延長や中・大規模修繕費、さまざまな要望が保護者や法人から出ており優先順位を見極め、対応できるように努力したい。

**インターネット
スポーツ施設の予約は**

問 スポーツ施設をインターネットで予約できるようにする考えは。

答 近隣市には、千葉、市川、柏流山市が既に実施している。施設の予約方法については、市民の利用を図るため、現行の貸出しシステムの見直しが必要なものと考え、インターネット予約管理システムを開発開発の勉強会にも参加している。今後導入に向けた調査・研究を行いたい。

**平成17年度予算について
全体構想を伺う**

問 三位一体改革の全体像が決定され、ますます厳しい財政状況の中、市の財政運営はどのように変化していくのか。

答 行政へのニーズは絶えず動いており、多様化していることが、今後の財政運営については変化せざるを得ない。また、そうしたなかには、必要なサービス水準を維持・展開することは困難である。時代に応じて既存事業を見直し、そこから財源を捻出するスクラップ・アンド・ビルドを基本とし、時にはスクラップ・アンド・ビルドも兼ねなければ財政は立ち行かない状況である。今後、短期的な行政改革を積極的に実行すると

**小・中学校適正規模
確保のために**

問 適正規模適正配置検討委員会は、適正規模確保のために学区の見直しをするのが重要である指摘しているが、市の考えは。

答 同委員会からの報告を受け、学区の見直しを検討してきたが、一校の学区を広げる、また、学区の小規模化を進めると、学区を広くてもそこに存在する児童が少なくなり、一校の適正規模を確保するために、学区変更が多数校に及び混乱の範囲が広がる。小規模校の学区を広げると通学区域がさらに広がり適正配置に支障をきたすなど、難しい状況にある。今後適正規模の確保については、学校選抜制、申立制による児童生徒の動向、社会的変動などを考慮し、適切に対応したい。

**まどこの
活性化のために**

問 構造改革特区制度の活用により規制を緩和させ道の駅をつくるなど、松戸のまちおこしやまちの活性化のために、この制度を活用していく考えはあるか。

答 特定制度については、提案・申請に至っていないが、現在協議中の事例があり、検討を行っている。地域の特性を活かしたまちづくりの環境として、道の駅を設置することについては、地域経済に効果があると認識している。この制度の活用については、まちおこしや経済・社会の活性化のために有効なものと考えていることから、今後も引き続き具体的な構想などの可能性について検討していきたい。

**根本内歴史公園
整備の進捗状況は**

問 根本内歴史公園は根本内城跡の跡地にあり、歴史的価値の高いものとされているが、同公園の開園に向けての準備状況は。

答 同公園は歴史的遺産と緑地の保全を目的とする都立公園として、平成11年9月に都市計画決定し、16年度末に公園面積の約92.2%、17年度末には残りの用地全てを取得する予定である。公園の整備については、15年度末で台地部分の整備をほぼ完了している。16年度は低地部の整備を進め、17年度はその他の整備を行い概ね完了する。事業当初は19年度の開園予定を進めたが、用地取得および施設設備等が順調に進んでいるので、18年度に開園したいと考えている。

**子どもたちの更なる
安全確保を**

問 学校統廃合により、通学路が遠くなる小・中学校の学区の安全対策について伺う。

答 統廃合に係る通学距離については従前から大きな差が生じないよう移植希望を聞きながら対応している。通学路を含む安全対策については、現在、統廃合準備事務局に参画されている保護者を中心に現地調査を行い、従来より、通学路の安全や危険箇所を含め、改めて確認して頂いている。教育委員会では通学時間の交通量調査を各対象校周辺で行い、準備事務局からの各種要望事項に対して、法的手続き・予算手立てなどを行う予定であり、更なる安全の確保に努める考えである。



開園が待たれる根本内歴史公園

*本会議の詳しい内容は、市役所行政資料センター・図書館またはインターネット会議録検索システム(<http://www.kaigiroku.net/kensaku/matsudo/matsudo.html>)にて、2月下旬頃にご覧いただけます。

12月定例会 審議結果

| 番号 | 件名 | 本会議の結果 | 番号 | 件名 | 本会議の結果 |
|---------------|---|---------|---------------|--|----------|
| 市長提出議案 | | | | | |
| 第15号 | 平成16年度松戸市一般会計補正予算(第2回) | 可決 全会一致 | 第37号 | 松戸市職員退職手当支給条例の一部を改正する条例の制定について | 可決 多数意見 |
| 第16号 | 平成16年度松戸市病院事業会計補正予算(第1回) | 可決 全会一致 | 第38号 | 監査委員の選任について | 同意 全会一致 |
| 第17号 | 松戸市市民センター条例の一部を改正する条例の制定について | 可決 多数意見 | 第39号 | 監査委員の選任について | 同意 全会一致 |
| 第18号 | 松戸市手数料条例の一部を改正する条例の制定について | 可決 全会一致 | 議員提出議案 | | |
| 第19号 | 松戸市難病者看護金支給条例の一部を改正する条例の制定について | 可決 多数意見 | 第11号 | 平成17年度地方交付税所要総額確保に関する意見書 | 可決 多数意見 |
| 第20号 | 松戸市遺児手当支給条例の一部を改正する条例の制定について | 可決 多数意見 | 第12号 | 定率減税の縮小・廃止に反対する意見書 | 可否 多数意見 |
| 第21号 | 松戸市敬老祝金支給条例の一部を改正する条例の制定について | 可決 多数意見 | 第13号 | 自衛隊のイラクからの速やかな撤退を求める意見書 | 可否 多数意見 |
| 第22号 | 松戸市ねたきり身体障害者福祉手当支給条例の一部を改正する条例の制定について | 可決 多数意見 | 第14号 | 日米地位協定の見直しを求める意見書 | 可否 多数意見 |
| 第23号 | 松戸市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定について | 可決 全会一致 | 第15号 | 社会福祉制度改正に関する意見書 | 可否 多数意見 |
| 第24号 | 松戸市緑の条例の一部を改正する条例の制定について | 可決 全会一致 | 第16号 | 政治資金規正・透明化推進を求める意見書 | 可否 多数意見 |
| 第25号 | 松戸市自転車駐車場条例の一部を改正する条例の制定について | 可決 全会一致 | 第17号 | 教育基本法の改正に反対する意見書 | 可否 多数意見 |
| 第26号 | 松戸市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について | 可決 全会一致 | 第18号 | 教育基本法の改正について徹底論議を求める意見書 | 可否 多数意見 |
| 第27号 | 訴えの提起について | 同意 多数意見 | 第19号 | 新潟県中越地震被災者への制度的支援に関する意見書 | 可否 多数意見 |
| 第28号 | 市道路線の廃止及び認定について | 同意 全会一致 | 第20号 | 大規模災害の対策と早期復旧に関する意見書 | 可決 全会一致 |
| 第29号 | 千葉県自治センターを組織する地方公共団体の数の減少に関する協議について | 同意 全会一致 | 第21号 | 郵政事業の改革に関する意見書 | 可決 全会一致 |
| 第30号 | 千葉県自治センターを組織する地方公共団体の数の減少に関する協議について | 同意 全会一致 | 第22号 | 高齢者虐待防止法の制定を求める意見書 | 可決 全会一致 |
| 第31号 | 千葉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び千葉県市町村総合事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について | 同意 全会一致 | 第23号 | 緊急地域雇用創出特別交付金の継続・改善を求める意見書 | 可決 全会一致 |
| 第32号 | 千葉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び千葉県市町村総合事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について | 同意 全会一致 | 第24号 | 国における平成17年度教育予算拡充に関する意見書 | 可決 全会一致 |
| 第33号 | 千葉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少に伴う財産処分に関する協議について | 同意 全会一致 | 第25号 | 義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書 | 可決 全会一致 |
| 第34号 | 北千葉広域水道企業団を組織する地方公共団体の数の減少及び北千葉広域水道企業団規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について | 同意 全会一致 | 平成16年度請願 | | |
| 第35号 | 指定管理者の指定について | 同意 全会一致 | 第1号 | 公立小・中学校教科書採択地区の適正規模化を求める請願 | 継続 審査 |
| 第36号 | 松戸市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について | 可決 多数意見 | 平成16年度陳情 | | |
| | | | 第5号 | 緊急地域雇用創出特別交付金の継続・改善を求める陳情 | 採択 全会一致 |
| | | | 第6号 | 「食料・農業・農村基本計画」見直しに関する陳情 | 継続 審査 |
| | | | 第7号 | 東京湾アクアライン通行料金の普通車800円による社会実験を要望する意見書採択に関する陳情 | 継続 審査 |
| | | | 第8号 | 原発震災を防ぐための意見書提出を求める陳情 | 不採択 多数意見 |
| | | | 第10号 | 「国における平成17(2005)年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する陳情 | 採択 全会一致 |
| | | | 第11号 | 「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択を求める陳情 | 採択 全会一致 |
| | | | 第12号 | 市民センターのお風呂事業の存続を求める陳情 | 不採択 多数意見 |
| | | | 第13号 | 市民センター浴室事業の存続を求める陳情 | 不採択 多数意見 |

両議員が選出されました。

桜井 秀三
渡辺 美喜子

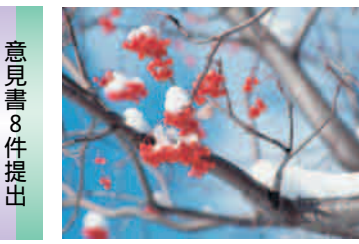
議会選出監査委員

議会選出の監査委員に欠員が生じたことに伴い、新たに選任するための議案が今定例会に提出され

意見書8件提出

地方自治法第99条の規定により、国会および関係行政庁に対し、次の意見書を提出しました。

平成17年度地方交付税所要総額確保に関する意見書
教育基本法の改正について徹底論議を求める意見書
大規模災害の対策と早期復旧に関する意見書
郵政事業の改革に関する意見書
高齢者虐待防止法の制定を求める意見書



編集の窓

昨年を振り返りますと暗いニュースばかりだったような気がします。イラクの人道事件や拉致問題、10回を数えた台風の来襲、新潟県中越地震の発生、そして年末にアジア各地を震撼させたスマトラ沖の大津波など、何かに人類の世紀末を想像させるようなことが多くありました。政治に目を向ければ年金問題や、三位一体改革における地方分権と財政再建問題など、多くの課題が先送りされ、スッキリしないまま新年を迎えたような気持ちです。松戸市においても多くの課題はありますが、今年こそ明るい年にすることを目標に、地方自治体の議員の一人として取り組みたいと思います。

次のとおり委員会の構成が変更されました。

| | |
|------|--------|
| 委員長 | 中川 英孝 |
| 副委員長 | 吉岡 五郎 |
| 委員 | 城所 正美 |
| | 山口 栄作 |
| | 張替 勝雄 |
| | 山口 榮作 |
| | 岩堀 研嗣 |
| | 平林 俊彦 |
| | 二階堂 剛 |
| | 佐藤 恵子 |
| | 岡本 久子 |
| | 伊藤 和久 |
| | 藤余 一郎 |
| | 橋本 又三子 |

市立病院建設検討特別委員会

議会を傍聴しませんか。

問い合わせ先 市議会事務局
TEL (366) 7381

3月定例会の開催予定について

平成17年3月定例会は、1日(火)から25日(金)まで開催される予定です。
請願・陳情は2月18日(金)正午までに提出してください。

| 期日 | 主な内容 |
|---------|-------------|
| 3月1日(火) | 招集日・本会議 |
| 2日(水) | (施政方針・議案説明) |
| 4日(金) | 本会議(先議議案審議) |
| 7日(月) | 本会議(一般質問) |
| 9日(水) | " |
| 10日(木) | " |
| 14日(月) | 常任委員会(議案審査) |
| 15日(火) | " |
| 16日(水) | 予算審査特別委員会 |
| 17日(木) | " |
| 22日(火) | " |
| 23日(水) | 本会議(議案等の議決) |

次回発行予定は4月24日(日)です。

広報委員会

委員長 大井 知敬
副委員長 箕輪 信一
委員 名木 浩一
同 草島 剛
同 渡辺 美喜子